

認知症に関する活動報告・計画

埼玉県作業療法士会では「認知症地域支援推進部」を組織しており、地域支援の基盤強化を目指し、認知症専門研修の開催、オレンジカフェの支援、認知症の人と家族の会との連携を継続している。

昨年度は、若手の作業療法士（以下OT）を対象とした講義形式の研修のほか、「しゃべくりOT」と題した相互交流形式の研修を開催した。

また、地域支援に興味がある・一歩踏み出そうとしている作業療法士を対象とした応用研修を開催した。応用研修では、東京医療学院大学 古田常人先生による「地域支援のエッセンス」についての講義や、埼玉県オレンジ大使 渡邊雅徳様をお招きして当時者の体験談をお聞かせいただき、質問コーナーでは社会やOTに期待することなどの対談を行った。今年度は3回の研修開催を予定している。

オレンジカフェの実施

埼玉県OT会員が立ち上げから携わっているオレンジカフェでは、OTならではのアクティビティーを実施したり、世代を繋ぐ交流機会の促進支援をしている。

オレンジカフェへのOT会員参加増を目標に、グループコミュニケーションアプリ「BAND」を用いた開催報告・次回開催の周知と参加者募集を継続している。



認知症の人と家族の会との連携事業

「認知症の人と家族の会 埼玉県支部」と連携し、県内4か所で開催されている「若年のつどい」へのOT派遣を継続しており、共催の形をとっている。

OTは、体操やレクリエーションのアイデアを提案・実施したり、散歩の際にご本人グループに同行させていただき交流促進を図ったりしている。



COVID-19の影響・対応など

研修会に関しては、今年度もオンラインでの開催を継続していく。研修参加者からは、オンラインでの開催は参加しやすいとの意見が多い。相互交流型研修の対面形式での開催を期待する声もあるため、今後の動向にあわせて検討していく。

地域活動への参画は、5類感染症へ移行したことによりしやすくなった側面がある。感染予防対策を引き続き講じながら、さらなる発展を図っていきたい。